

# 免震サプレックス施工要領書（塩ビ製MB-HYシステム）

「設置場所と納入品に相違無いことをご確認下さい」

## 注意点

1. 建物側、地盤側の固定架台を取り付けて下さい。
2. 配管を固定架台に取り付けし、取付面間、芯間寸法が設計寸法どおりか確認下さい。

	許容芯ずれ	許容面間誤差
MB-HYシステム	±5mm (排水勾配分を除く)	±5mm

3. 免震サプレックスバンドを所定の面間寸法に合わせて取り付け下さい。  
滞留防止の為、二重管のパイプの太い方を下流側に取り付け下さい。
4. フランジをボルト、ナットで固定してください。  
フランジパッキンは必ず付属の全面パッキンを使用下さい。  
また、接続する配管のフランジも全面座の物を使用下さい。  
これ以外の物はフランジが全面接触しないため、ボルト締めに伴いフランジ部が破損する恐れがあります。

・固定架台は出来るだけ免震継手の直近に設置願います

・左表の誤差範囲内に収まるように配管の施工、芯出をお願いします。

・排水勾配は4度以内で配管して下さい。

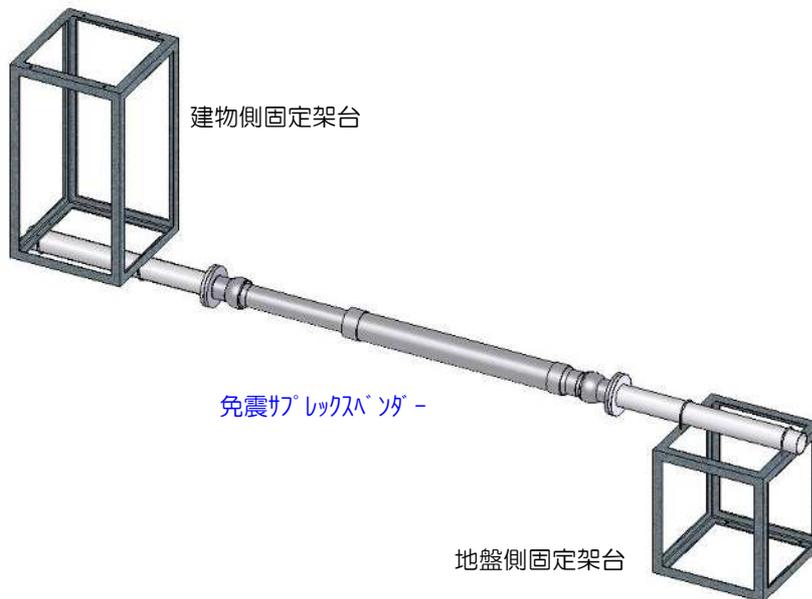
・接続配管は継手の反力値に応じた強度を有する材料を使用下さい。

・輸送の都合上、面間寸法を最短面間に縮めた状態で納入します。

・現地で所定の寸法に合せて取付下さい。

・ボルトの頭を継手側にして均等に締め付けて下さい。  
片締めにならないように十分注意下さい。

## 施工例



## 注意事項

◎塩ビ製のため、過度の衝撃が加わると、割れ、歪の原因となりますので取扱いにはご注意下さい。

◎風雨、直射日光の当たる環境では保護カバーが必要です。

(別途ご相談下さい)

◎ボール部に作業中異物が入らないように注意下さい。砂などが入った場合は掃除機などで除去下さい。

◎自然流下の排水用途の継手です。配管ライン点検時などを含め、継手には圧力が掛からないようにして下さい。水圧試験時などは継手部をダミー管に替えるなどの処置をして下さい。

◎継手を面間調整などで伸縮させるとき、パッキンの面圧の関係上動きにくい場合があります。フランジの片側を固定して反対側のフランジを長ネジボルト等で引張り少し動かすと容易に伸縮するようになります。

その際、継手を傷付けぬように、十分に注意して作業願います。

◎継手には上下流、天地の方向性があります。図面を参照の上、間違えないように施工下さい。